令和 5（2023）年度 第 1 回水工学委員会および幹事会　議事録（最終版）

日　時：令和 5 年 6 月 1 日（木）13:00～15:30
場　所：オンライン（Zoom）
出席者
中川 一(顧問), 清水義彦(顧問), 泉 典洋, 佐山敬洋, 小田僚子, 矢野真一郎, 溝口敦子, 高橋正行, 椿 涼太, 入江政安, 竹林洋史, 森脇 亮, 音田慎一郎, 川村里実, 岩崎理樹, 梅田 信, 川越清樹, 二瓶泰雄, 鼎 信次郎, 田中規夫, 宮本仁志, 芳村 圭, 平林由希子, 石川博基, 瀬﨑智之, 佐藤隆宏, 荒木千博, 渡邊武志, 中村要介, 岡村誠司, 戸田祐嗣, 谷口健司, 武田 誠, 市川 温, 川池健司, 小林健一郎, 田中賢治, 赤松良久, 内田龍彦, 高橋直己, 重枝未玲

(委員 39/50 名)

大槻順朗(オブザーバ), 五十里 洋行(オブザーバ), 深見　和彦(オブザーバ), 呉 修一(オブザーバ),
那須珠実 (土木学会事務局)

欠席者： 道奥康治(顧問) , 寶 馨(顧問), 中北英一(顧問) , 清水康行(顧問), 大石 哲, 田端幸輔, 中山恵介, 柿沼太貴, 陰山健太郎, 山田朋人, 山上路生, 手計太一, 風間 聡, 山口弘誠, 杉原裕司
記録者：川越清樹　(以上，敬称略)

0. 泉委員長挨拶
・議事に先立ち、泉委員長より挨拶があった.
　１）土木学会論文集特集号（水工学）の編集合理化、２）新しい水シンポのあり方検討、３）若手・女性の水工学研究者のプロモートの３点を重点的に進める。

≪報告事項≫
1. 令和 5 年度水工学委員会構成（幹事長）　資料 1-1、2
　・資料に基づき説明された．今年度より，水理・水文統計解析研究小委員会が今年度より設立された.
2. 令和 5 年度の年間スケジュール（幹事長）　資料 2
　・資料に基づき説明された.
3. 2023 年度水工学に関する夏期研修会（北海道大学，岩崎委員）　資料 3
　・岩崎委員より, 資料に基づき準備状況の説明があった. 対面で実施する予定であることが報告された.
4. 水シンポジウム 2023 in さが（矢野委員）　資料 4
　・矢野委員より，資料に基づき準備状況が説明された．前回大会同様に対面とオンラインの併用開催を予定していることが報告された．積極的な参加の要請があった.
　・四部会に対してパネル展示を準備するよう要請があった.
5. 部会・小委員会・関連委員会の活動報告及び活動計画
➢部　会　：　基礎水理部会（高橋正委員）　資料 5-1
　　河川部会（内田委員）　資料 5-2
　　環境水理部会（赤松委員）　資料 5-3

水文部会（市川委員）　資料 5-4

➢研究小委員会：グローカル気候変動適応研究小委員会（小林委員）　資料 5-5

河道管理研究小委員会（戸田委員）　資料 5-6

水理・水文統計解析研究小委員会（小林委員）　資料 5-7

河川観測技術高度化研究小委員会（椿委員）　資料 5-8

➢関連委員会：水工学オンライン小委員会（武田委員）　資料 5-9

土木学会論文集編集委員会（岩崎委員）　資料 5-10

河川懇談会（二瓶委員）　資料 5-11

流域管理と地域計画の連携（市川委員）　資料 5-12

水害対策小委員会（竹林委員）　資料 5-13

IAHR Japan Chapter（川池委員）　資料 5-14

・各部会長，小委員長および関連委員から，各部会，各小委員会，関連委員会の活動報告と今年度の予定に関して説明があった．詳細は資料の通りである．

6. 令和4年度水工学委員会の活動評価（幹事長）　資料6

・佐山幹事長より，水工学委員会が A ランクの評価であり，この評価に伴って調査研究費の 2023 年度配分額が 88.1 万円となったことが報告された．

7. その他

・深見オブザーバーより，ISOTC113 (Hydrometry 開水路の流量測定)において 6 月 8 日に第 8 分科会(地下水分科会)があり，地下水モデリングの規格化に関する議案があるため，関係者に協力要請したい説明があった．

≪協議事項≫

1. 令和５年度土木学会論文集特集号（水工学）Vol. 80, No. 16

査読スケジュール・編集作業等（編集幹事長）　協議資料 1

・小田編集幹事長より，新たな編集方針・体制，今年度の投稿（約 260 件）と査読の状況の説明があった．

・今年度より EM(Editorial Manager)補佐を新設したこと，1 月下旬から 2 月上旬に J-stage 論文として公開されること，論文のフォーマットが変わったことが説明され，投稿料と登壇料の考え方が確認された．

2. 令和 5 年度第 68 回水工学講演会について（大阪，入江委員）　協議資料 2

・入江委員より，今年度の講演会(大阪大学 中之島センター・大阪中之島美術館)に関する準備状況の説明があった．

・講演会に関わるスケジュールは確定後に早めにメーリングリスト等を通じて連絡する要請があった．

3. 令和 5 年度第 69 回水工学講演会について（富山，呉委員）　協議資料 3

・呉委員より，来年度の講演会に関する準備状況の説明があった．

4. 令和 6 年度水工学に関する夏期研修会（関西，海岸工学委員会担当，代理：幹事長）

・佐山幹事長より，来年度の夏期研修会(関西)に関する準備状況の説明があった．

5. 令和 6 年度水シンポジウム（長野県，幹事長）

・佐山幹事長より，来年度の水シンポジウム(長野)に関する準備状況の説明があった．

6. JSCE-CCES Joint Symposium について（矢野委員）　協議資料 4

・矢野委員より，4th JSCE-CCES Joint Symposium の案内に関する説明があった.

・水工学委員会から少なくとも 10 名程度の参加者を出してほしく，積極的な参加の要請があった.

・正式なアナウンスは，Joint Symposium の内容確定後に改めてメーリングリストを通じて連絡する報告があった.

7. 令和 5 年度の水工学委員会の予算について（幹事長）　協議資料 5

・佐山幹事長より，今年度の予算額（概算）の説明があった.

・必要に応じて予算申請して頂く体制であることが確認された.

・コロナ禍の予算措置ではなく通年ベースの予算計上になっていることが確認された.

・部会による河川調査・見学会などを企画した場合、バス代などの費用を委員会予算から支出できるかという質問が出され、若手研究者や学生にこの分野に興味を持ってもらい、委員会を盛り上げる活動であれば積極的に支援したいという方針が委員長より示された.

8. その他

・なし